

このことについて、下記のとおり報告します。

1 実施期間

生徒、保護者、教職員 令和6年1月9日(火)～1月16日(火)

2 学校評価の結果

次ページ以降

3 成果と課題

(1) 保護者アンケートから

○3と4の合計の割合が80%以上の項目は、26項目中22項目(85%)である。

○特に評価が高いのは、「学校は道徳心を育てている(3.2)」「学校は人権の大切さを伝えている(3.2)」「校舎内外の環境整備(3.2)」「交通事故防止について適切な指導(3.2)」「子どもの健康への関わり(3.2)」「子どもの将来への関わり(3.2)」である。

▲評価が低いのは、「家庭学習の充実(2.8)」「子どもの家庭学習への関わり(2.5)」「読書推進への関わり(2.3)」「学校、関係機関保護者同士の関わり(2.7)」である。

(2) 生徒アンケートから

○3と4の合計の割合が80%以上の項目は、26項目中24項目(92%)である。

○特に評価が高いのは、「学校の情報提供(3.6)」「あいさつの励行(3.5)」「体力向上の取組(3.6)」である。

▲評価が低いのは、「家庭学習の取組(2.8)」「積極的な読書(2.5)」「自分の将来への考え(2.9)」である。

(3) 職員アンケートから

○3と4の合計の割合が80%以上の項目は、28項目中26項目(93%)である。

○特に評価が高いのは、「学校の情報提供(3.7)」「学校行事の工夫(3.7)」「いじめの防止、人権の尊重(3.7)」「いじめや問題への対応(3.7)」「校舎内外の環境整備(3.8)」である。

▲評価が低いのは、「生徒の積極的な読書活動(2.8)」「生徒の言葉遣い(2.9)」「生徒の将来への展望(2.8)」である。

4 対策

(1) 「学校は、学校の情報を保護者地域に伝えている」について、本年度は学校ホームページの更新を定期的に行い、以前よりも学校の情報が伝わるようになった。生徒も「更新を楽しみにしている」と話している。しかし地域等への情報発信については更に周知していかなければならない。

(2) 「生徒の家庭学習への取組が不十分である」現状が子ども、保護者の回答から明らかになっている。本年度、校内研究で取り組んできた授業の振り返りをもとに自分で計画を立てる家庭学習となるよう今後も継続して指導していく。

(3) 「生徒の読書活動」については生徒、保護者、教職員とも不十分だと感じている。「読み聞かせ」の活動や読書に親しむ環境や時間の設定を行い改善していく。

(4) 「いじめ防止」や「人権の大切さを伝える」取組では90%以上が前向きな回答をしているが、生徒にとって、学校が安心・安全な居場所で人権感覚が磨かれた場となっていることを各学級だけでなく、組織的に継続させていく。教育相談やいじめアンケートを通して生徒から出てくるサインを見逃さず情報集約担当者を通して、今後も適切な対応に取り組んでいく。

(5) 校舎内外の環境整備については、学校運営協議会やPTA、地域住民の協力で以前に比べ大きく改善している。さらに生徒のボランティア活動や無音清掃を通して環境美化に取り組んでいく。

(6) 「子どもの健康に関する」項目ではメディアコントロールの取組を行ってきているが所持率がほぼ100%となっている中で家庭でのルール作りなど行っていく必要があり、保護者への更なる啓発を進めていく。

(7) 保護者の「家庭や地域との連携」については十分な連携活動ができていない。生徒の地域貢献活動、小学校と連携した活動を設定していく。

(8) 「業務改善や働き方改革」については、推進校の実践例を参考に日課表や学校行事、校務分掌の見直しなど負担感の軽減により一層取り組んでいく。